

2023年度大阪公立大学公開講座

# 沖縄学 ことはじめ

沖縄について関心はあるが、あまり勉強したことはないという方々はぜひご参加下さい。一緒に初歩から学んでいきましょう。

講師：田中 宗博 大阪府立大学名誉教授



午前の時間帯を開設しました。※3/24更新

2023年 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、本講座は変更、中止となる可能性があります。

詳細は裏面をご覧ください ▶▶

4/18[火]~6/20[火] 11:00~12:30  
14:30~16:00

毎週火曜日・全10回

申込フォーム



- 会場：大阪公立大学I-siteなんば2階（大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル）
- 定員：60名（申込者多数の場合は抽選） ■ 対象者：どなたでも ■ 受講料：7,000円（全10回分）
- 申込方法：大学Webサイト「申込フォーム」から申し込みいただくか、「往復はがき」で

(1) 氏名（フリガナ）、(2) 年齢、(3) 郵便番号・住所、(4) 電話番号、(5) このちらしの入手先をご記入の上、下記宛先へお申込みください。 ※受講の可否は、締切後4/7(金)までに通知します。届かない場合は必ずお問合せください。

■ 申込フォーム：右記二次元コードまたは大学Webサイトからお申し込みください。

■ 往復はがき宛先 ※返信用はがきは両面とも白紙でお送りください。

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 C5棟 社会連携課「沖縄学ことはじめ」係

■ 問合せ先：大阪公立大学 社会連携課 Tel 072-254-9942 Fax 072-254-6271

締切日  
3月28日(火)  
必着

## 講義概要

現代の日本国において沖縄県は、面積約2281平方キロメートルと、香川・大阪・東京に次ぐ4番目に小さな県に過ぎません。しかし、その歴史や文化に思いを馳せると、沖縄以外の日本全体と、1対1の比重で学ぶべき価値を有するとも言えます。近現代に日本の版図に組み込まれるまで、南海の独立王国＝琉球として独自の歩みを続けてきた沖縄は、「日本」というものの内実を考える際に、相対化・客観化の視座を与えてくれる貴重な地域でもあります。

この講座では、学校教育の場ではあまり学ぶ機会がなかった、沖縄の歴史や文化について、色々なことを知る契機を提供して、共に学ぶ機会としたいと考えています。



講師：田中 宗博  
大阪府立大学名誉教授

## 講義スケジュール

第1回 4月18日(火)	<b>沖縄の歴史概観 —中継貿易で栄えた南海の王国の光と影—</b> かつて東アジア社会の中で、海洋貿易国家として独自の歩みを遂げた琉球国。その地政学的条件を考え、「琉球処分」以前の琉球国の歴史について学びます。
第2回 4月25日(火)	<b>東アジア国際社会の中での沖縄 —泡盛・三線・亀甲墓等をめぐって—</b> 日本における沖縄文化の独自性は、対外交流の中で形成された一面があります。その端的な事例として、蒸留酒泡盛・蛇皮の楽器三線・独自の墓制に即して学びます。
第3回 5月2日(火)	<b>沖縄の靈魂観とノロ文化 —マブイを落とす、マブイを込める—</b> 沖縄の基層文化にみる靈魂観は、日本本土と共通しつつ独自なものがあります。時に身体から離脱するとされるマブイ(=魂)に関わる心意・伝承について学びます。
第4回 5月9日(火)	<b>沖縄の古歌謡 —『おもろさうし』の世界—</b> 16～17世紀に琉球王府で編纂された、平仮名表記の古歌謡集『おもろさうし』から、幾つかの詞章を採り上げて読解、そこに表れる当代人の世界観を考えます。
第5回 5月16日(火)	<b>沖縄の短詩型文学「琉歌」 —恩納ナビと吉屋チル、その他—</b> 和歌の57577と異なり、基本8886の音数律を持つ琉歌の中から、伝説的女流歌人の作品を採り上げ鑑賞、音楽との密接な関わりについても考えます。
第6回 5月23日(火)	<b>沖縄の劇文学 —玉城朝薫の「組踊り」創成と「執心鐘入」について</b> 「組踊り」は中国の外交使節歓待のため、18世紀玉城朝薫によって創始されました。その一篇、日本の道成寺縁起とも関わる「執心鐘入」を読解・鑑賞します。
第7回 5月30日(火)	<b>沖縄の史伝と日琉同祖論 —源為朝渡来伝承について—</b> 薩摩の武力侵攻後の体制下、近世琉球国の史書『中山世鑑』は、王朝の始原に源為朝の渡来を語りました。そこに示される「日琉同祖論」について考えます。
第8回 6月6日(火)	<b>糸満「白銀堂」の伝説を考える —強者薩摩の財力と沖縄の智慧ある言葉—</b> 借金に苦しむ糸満漁師の語った沖縄の格言が、貸し主の薩摩武士を救い、両者に和解と親和がもたらされる白銀堂伝説を、説話研究の立場から読解します。
第9回 6月13日(火)	<b>沖縄の食文化 —琉球王朝料理から庶民の食生活、アメリカ食の流入まで—</b> 沖縄の食文化は、自然的・文化的環境に即した独自なものがあります。長寿県を支えた伝統的な食から現代のものまで、広く概観しつつ楽しく学びたいと思います。
第10回 6月20日(火)	<b>オキナワンポップスの豊かな世界 —戦後新民謡から喜納昌吉・ビギン等々—</b> 歌の島・芸能の国とも称される沖縄で、様々な外来文化を消化・吸収しながら、多様に展開する沖縄現代音楽について、実際に曲を聞きつつ学びます。

※日程・講座内容等が変更となる場合があります。

